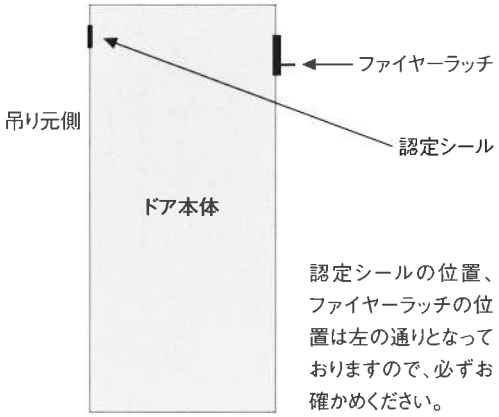
＜認定シール・ファイヤーラッチ位置＞

（特許出願済）



認定シールの位置、ファイヤーラッチの位置は左の通りとなっておりますので、必ずお確かめください。

＜ファイヤーラッチ＞

1）通常のドアでは火災時に反りを起こし、そのドアの反りによってできた隙間から火が漏れて部屋の中に火が侵入してしまいますが、「ファイヤーラッチ」は火災時に生じるドアの反りを食い止め、部屋の中への火の侵入を防ぎます。

2）「ファイヤーラッチ」は温度80度以上に達すると作動し、ドアの反りを食い止めます。防火ドアはその周辺温度が約50度以下に保たれた場所に設置してください。

注）ファイヤーラッチが火災時以外に作動した場合、ファイヤーラッチが設置されている部分（左図面参照）に水をかけて冷やすことによってファイヤーラッチは解除されます。

3）ファイヤーラッチにテープ等を貼りますと災害時に作動しなくなりますのでドアの側面に設置されているファイヤーラッチにはテープ等を貼らないでください。

＜災害時の防火機能・取扱注意＞

1）ドアは火災発生時点から乙種では20分間、甲種では60分間、部屋への火の浸入を防ぎます。

2）ドアの表面温度が約80度に達するとファイヤーラッチが作動し、ドアの反りを防ぎます。部屋の外へ脱出する場合はドアの開き口に水をかけてドアの表面温度を下げてください。ドアの表面の温度をさげることによってファイヤーラッチが解除されます。解除しない場合は「ファイヤーラッチの設置図」にある位置をハンマー等で叩いて壊してください。

4）火災時において、ドアの表面は手で触れる程度の温度で保たれますが、ガラス及び金物は温度が上がりますので触らないようにご注意ください。

＜木製防火ドア本体の取扱注意事項＞

1）防火ドアは防火地域及び区域に則した認定商品をお選びください。「不燃扉」と指定された場合は「認定外製品」となりますのでご注意ください。

2）防火ドアは上記の仕様条件・寸法範囲内のみの対応としております。

3）防火ドアは認定条件に則した金物のみの対応としております。

4）ドアの側面または表面に釘等を打ったり、削ったりしないでください。火災時に火が漏れる原因となります。

5）ドアのモール（額縁）に釘等を打たないでください。モールを傷つけますと火災時に火がそこから漏れてしまいますのでご注意ください。

6）当社防火ドアを使用される場合、当社指定の枠、金物（ドアクローサー等）をご使用してください。当社指定以外の枠、金物を使用する場合は必ず当社の担当者にご相談してください。認定外の枠、金物を無断で使用した場合は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

7）当社の防火ドアを施工する際、必ず枠を水平、垂直、対角を正確に設置してください。

8）防火ドアは一般の木製ドアと異なり現場で削って調整することが出来ませんのでご注意ください。

＜ガラス入りドアの取扱注意＞

1）ガラス戸については断熱ガラスを使用しておりますのでカッター等で傷つけないようにしてください。

2）ドアのモール（額縁）に釘等を打たないでください。モールを傷つけますと火災時に火がそこから漏れてしまいますのでご注意ください。

3）ガラスは「耐火ガラス」以外のものはご使用出来ませんのでご注意ください。

＜定期点検のおすすめ＞

当社では防火ドアの性能を保つ為に定期的な点検をお薦めいたします。

●点検に際する注意事項：

a）点検時期は5年ごとを目安に行ってください。

b）点検で異常を発見した場合はドアの交換を行ってください。ドアの交換は有償となりますので御了承ください。

c）使用時にお気づきな点がございましたらなるべく早くご連絡、ご相談をしてください。

※製品についての詳細・データは、別紙「木製防火ドア・取扱い説明書」をご参照ください。

●お買い求めの際には、お近くのモデルハウス及びリフォーム窓口におたずねください。

木と触れあう上質な暮らし
NONAKA
ノナカウッドプロダクツ株式会社
〒106-0047 東京都港区南麻布 3-20-1 麻布グリーンテラス5F Tel. 03-6859-8439 Fax.03-6859-8581
E-mail : answer01@nonaka.co.jp http : //www.nonaka.co.jp